

平成 30 年 1 月 30 日
市川市環境政策課

市川市の戦略的環境学習について

1. 本市における「環境学習」の位置づけ

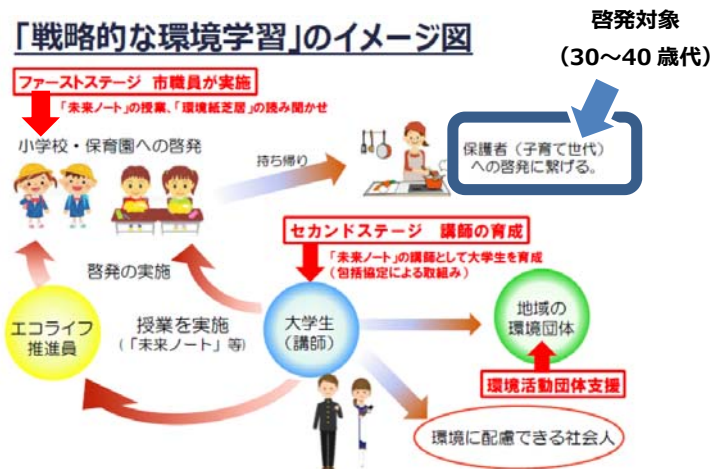
「環境学習の推進」は、本市環境行政のベースとなる「第2次市川市環境基本計画」、また、その地球温暖化対策についての実施計画である「市川市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」において、施策の一つとして位置づけられている。

地球温暖化対策の推進を図るためには、市民一人ひとりの環境配慮意識の向上、行動の実践が不可欠であり、その目的を達成するためには、環境学習の普及が有効であることから、効率的、効果的な環境学習を戦略的に推進している。

2. 戦略的環境学習とは

- 平成 28 年度に実施した e モニターアンケートでは、30 歳未満と 30～40 歳代の環境配慮意識、実践率が他の世代に比較して、低いことが明らかになった。
- 30 歳未満は、社会人として歩み始めて間もなく、いろいろなことに興味・関心を抱く世代であり、また、30～40 歳代は、子育てに多忙な世代であることから、環境配慮などに対し、意識が回らないことが理由の一つと考えられる。
- 地球温暖化対策を推進していくためには、30 代未満、30～40 歳代の環境配慮意識、実践率を向上させることが必要である。
- 保育園の園児や小学校の児童への継続的な啓発と合わせ、子どもたちを通じて、保護者である 30～40 歳代への啓発につなげる。

3. 戦略的環境学習のイメージ図



[参考データ] e-モニターアンケート

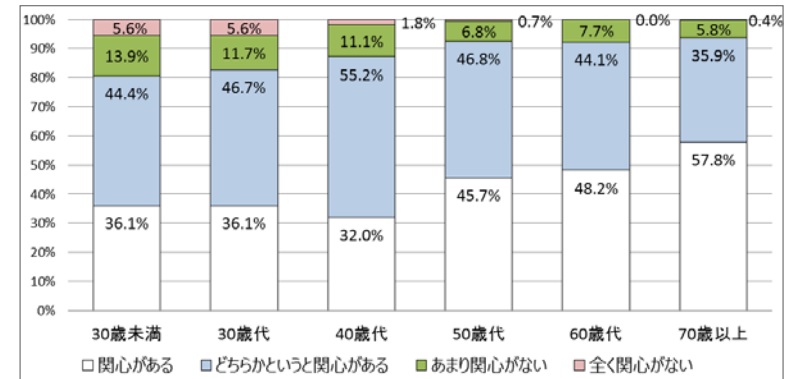
(1) 実施期間

平成 28 年 5 月 27 日（金）～6 月 6 日（月）10 日間

(2) 回答数

1382 回答率 19.1%（モニター数 7245）

地球温暖化問題への関心度



エコライフへの取り組み状況

